放送大学北海道学習センター監視カメラシステム　一式

仕　様　書

令和8年11月

放送大学学園

Ⅰ. 仕様書概要説明

1） 調達の背景及び目的

放送大学北海道学習センターでは、施設内の防犯・安全管理体制の強化を目的として、監視カメラシステムを導入する。本システムの導入により、施設内の状況把握、不審者・不審物の早期発見、夜間の防犯性向上を図り、学生・教職員及び来訪者が安心して利用できる環境を実現する。

2） 調達物品名及び構成内訳

（調達物品名）

監視カメラシステム　一式

（構成内訳）

※ 参考として記載した型番は、北海道学習センターの希望製品を示すが、他の製品を提案する場合は、同等品またはそれ以上の性能・機能等の製品を提案すること。

1.	全方位AIカメラ	2 台 （参考:i-PRO WV-S4156UX）
2.	屋内ドームAIカメラ	2 台 （同:i-PRO WV-S32032-F2L）
3.	ネットワークディスクレコーダー	1 台 （同:i-PRO WJ-NU101/2）
4.	人感センサーライト	4 台 （同:TAKEX LCL-12C）
5.	UTPケーブル	98m

以上、搬入、据付、設定、配線、システム構築、調整、既存設備との接続を含む。

3） 技術的要件の概要

1. 本調達物品に係わる性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は「Ⅱ.調達物品に備えるべき技術的要件」に示すとおりである。
2. 技術的要件は全て必須である。

4） 納入場所

札幌市北区北 17 条西 8 丁目（北海道大学構内）

放送大学北海道学習センター

詳細は北海道学習センター職員の指示に従うこと。

5） 納入期限

令和9年1月31日

6） その他

1. 仕様に対する留意事項

見積機器は、原則として見積時点で製品化されており、未使用であること。見積時点で製品化されていない機器によって応札する場合は、技術的要件を満たすことの証明及び納入期限までに製品化され納入できることを保証する資料及び誓約書等を提出すること。

2. 提案に関する留意事項

（ア） 提出に関しては、提案する機器が本仕様書の要求要件をどのように満たすか、あるいはどのように実現するかを要求要件ごとに具体的かつわかり易く、資料等を添付する。

（イ） 提出資料等に関する照会先を明記すること。

（ウ） 提出された内容については、問い合わせやヒヤリングを行うことがあるので、誠実に対応すること。

（エ） 提案が仕様を満たしていることを、提出書類のどの部分で証明できるか、参照すべき箇所を明記すること。参照すべき箇所がカタログ、図面、仕様書等である場合には、アンダーラインを付したり、余白に大きく矢印をしたりすることによって当該部分を分かりやすく明示すること。

3. 導入に関する留意事項

（ア） 導入スケジュールについては、北海道学習センターと協議し、その指示に従うこと。

（イ） 配線工事、機器取付工事、設定、試験調整、既存機器との接続に要するすべての費用は、本調達に含まれる。

（ウ） 本システムのネットワークは、カメラとレコーダー間の独立回線として構築し、既存の学内ネットワークとは接続しないこと。

（エ） 監視映像の確認は、北海道学習センターが保有する既存モニターを使用することとし、モニターの新規調達は不要とする。レコーダーと既存モニターの接続は HDMI とし、接続に必要なケーブル等は本調達に含むこと。

Ⅱ. 調達物品に備えるべき技術的要件

本システムに関して、以下の要件を満たすこと。

（複数台の機器に対する要件は、当該機器あたりのものであり、1 台あたりにそれぞれ備えるべき要件を示したものである。）

1） 性能、機能に関する要件

1. システム構成、システム機能
1-1　カメラ、レコーダー、周辺機器を含めたシステムであること。

1-2　各カメラの映像はレコーダーで一括録画・管理できること。
1-3　レコーダーは HDMI 出力により既存モニターに接続し、ライブ映像確認及び録画映像再生が可能なこと。
1-4　本システムのネットワークは、カメラとレコーダー間の独立回線とし、既存の学内 LAN 等とは接続しない構成とすること。
1-5　人感センサーライトはカメラ設置個所付近（廊下天井）の視認性向上及び防犯目的で運用可能なこと。
2. 機器仕様
2-1　全方位 AI カメラ（設置場所：5 階、6 階廊下天井　各1台）
2-1-1　魚眼レンズを搭載し、1 台のカメラで 360 度全方位を画面の周辺部までクリアに撮影できること。
2-1-2　有効画素数は 500 万画素以上であること。
2-1-3　AI（ディープラーニング）技術による音識別機能を搭載していること。
2-1-4　AI プロセサーを活用する機能拡張ソフトウェアを 3 つ以上インストールできる構造をもっていること。
2-1-5　AI 処理による物体検知と連携させた技術を搭載し、低ビットレート高画質ストリームでデータ量を削減できること。
2-1-6　天井設置に適した形状・取付金具を有すること。
2-1-7　PoE給電に対応していること。
2-2　屋内ドームAIカメラ（設置場所：5 階、6 階階段前天井　各 1 台）
2-2-1　AI（ディープラーニング）技術による音識別機能を搭載していること。
2-2-2　AI プロセサーを活用する機能拡張ソフトウェアを 2 つ以上インストールできる構造をもっていること。
2-2-3　AI 処理による物体検知と連携させた技術を搭載し、低ビットレート高画質ストリームでデータ量を削減できること。
2-2-4　IR-LED（赤外線照明）を搭載していること。
2-3　ネットワークレコーダー（設置場所：事務室）
2-3-1　4 台以上のカメラ接続に対応していること。
2-3-2　4 つ以上のPoE給電機能を搭載していること。
2-3-3　常時録画方式により、カメラ 4 台分の映像を 7 日間（1 週間）以上保存可能な容量を有すること。容量が不足する場合は、増設等により必要容量を確保すること。
2-3-4 HDMIインターフェースを有し、既存設備への映像出力ができること。
2-3-5 USB ポート（データコピー用）を搭載していること。
2-4　人感センサーライト（設置場所：5階、6 階廊下天井）

2-4-1 LED人感センサーライトであること。
2-4-2 検知方式は、遠赤外線をキャッチするパッシブインフラレッド方式の人感センサーであること。
2-4-3 屋内（廊下）設置に対応していること。
2-4-4 電源方式、照度、検知距離は設置環境に適合すること。
2-5 UTP ケーブル
2-5-1 カテゴリー6 以上のエコケーブルでPoE対応であること。
2-5-2 総延長 98mを納入すること。
2-5-3 カメラとレコーダー間の接続に使用し、独立回線として構成すること。

2） 性能・機能以外の要求要件

1. 設置条件等

（ア）北海道学習センター職員の指示に従って設置すること。特にカメラ及び人感センサーライトの設置場所（5 階・6 階廊下天井）は、事前に現地確認の上、最適な設置位置を協議して決定すること。

（イ）配線工事、機器取付工事に必要な雑材・消耗品等は本調達に含むこと。

（ウ）設定・試験調整を行い、正常動作を確認すること。

（エ）既存モニターとの接続確認（HDMI）を行い、正常に映像が表示されることを確認すること。

（オ）常時録画設定により、7 日間分の映像が正常に保存されることを確認すること。

2. 保守体制

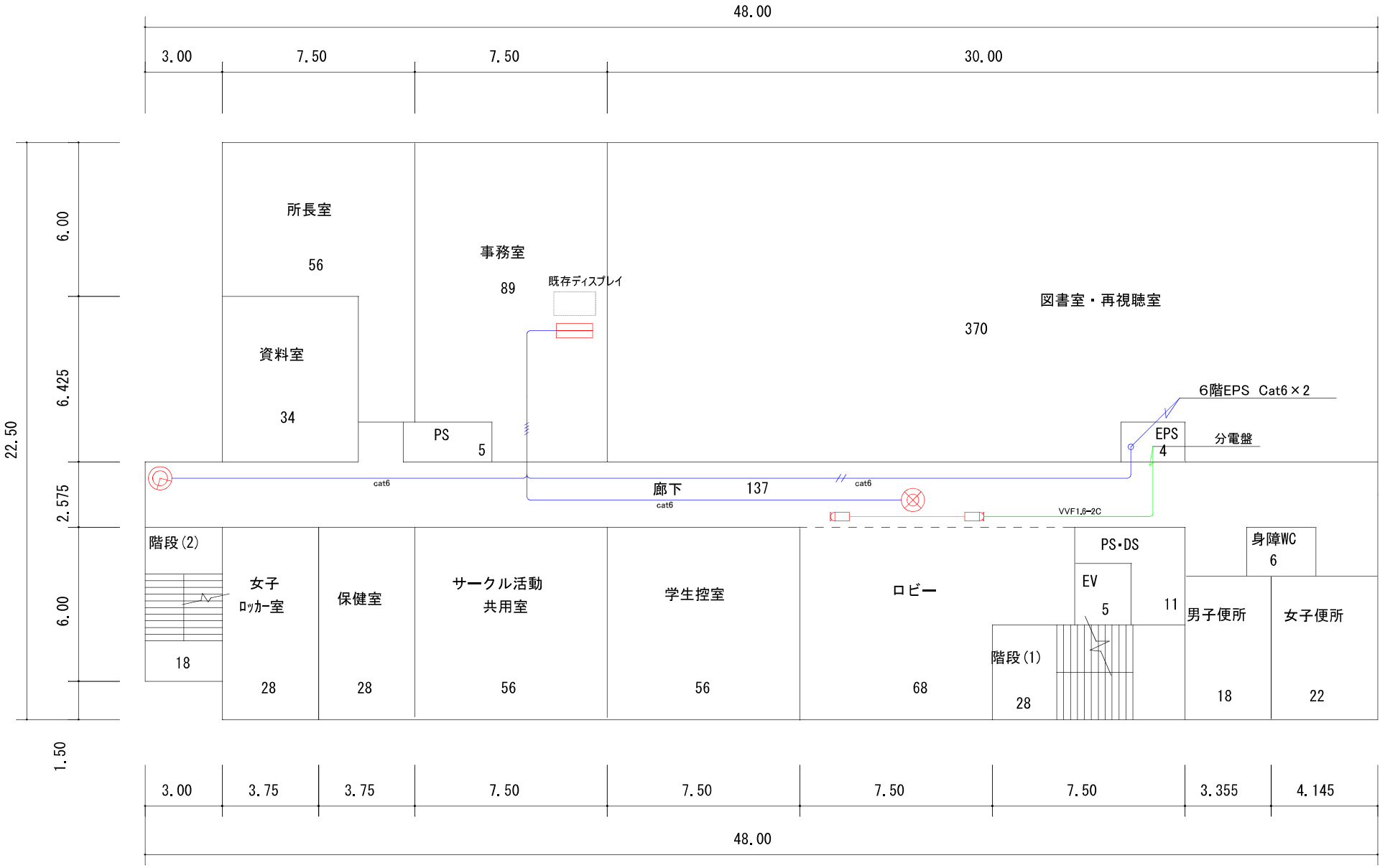
（ア）納入後1年以内に通常使用により故障が発生した場合は、無償で修理すること。

（イ）障害が発生した場合は、1 営業日以内に障害対応を開始すること。

3. その他

（ア）発注者の要請により、本システムの運用に必要な操作説明及び教育を行うこと。

（イ）本システムを利用及び管理運営するために必要な日本語マニュアルを設置場所に用意すること。また、改訂があった場合は、その都度提供すること。

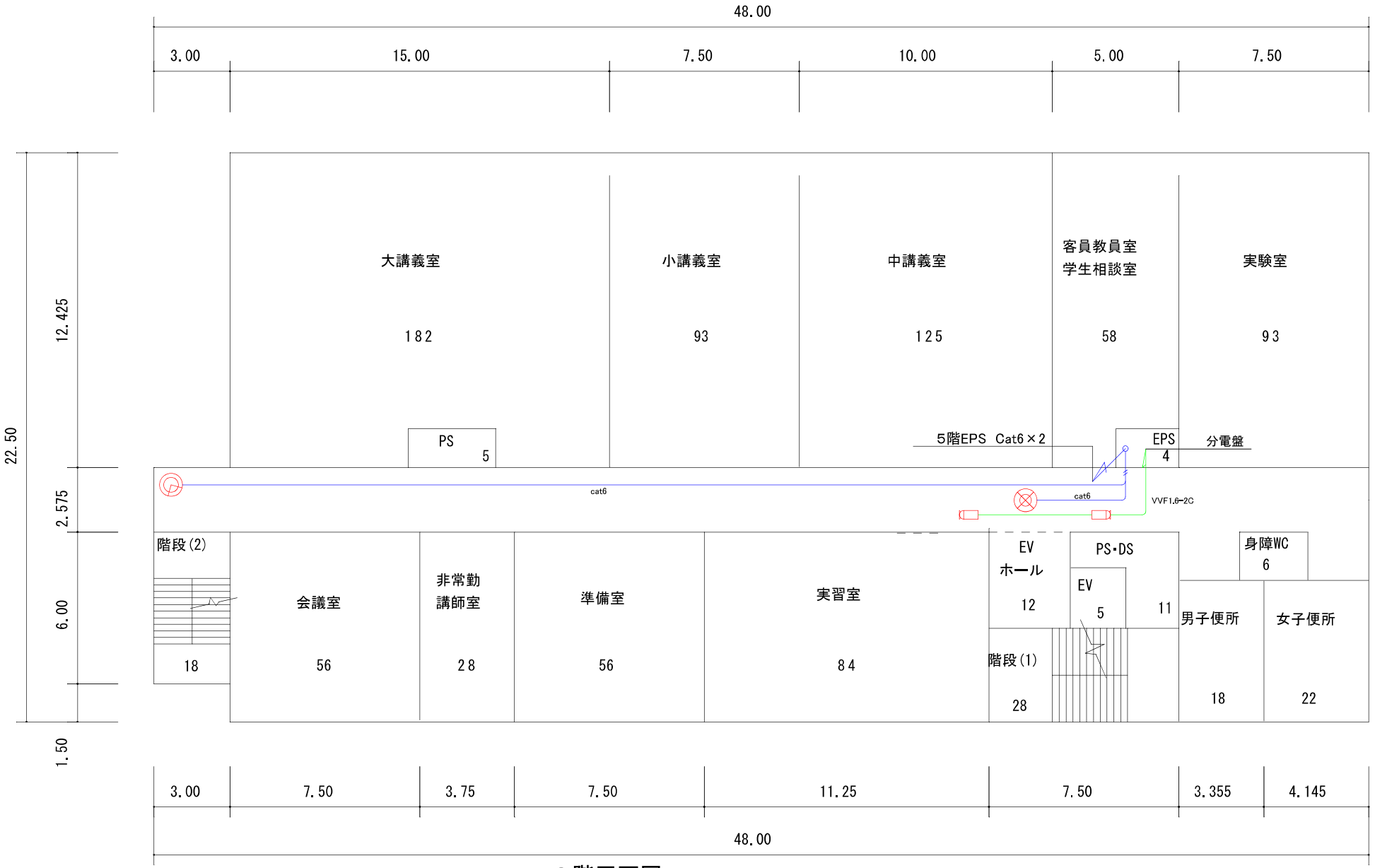


5階平面図

ネットワークレコーダー　ドーム型カメラ　全方位カメラ　センサーライト

									件名
									図名
年月日	修正内容	年月日	修正内容	設計	製図	写図	検図	査閲	図番

縮尺



年月日	修正内容	年月日	修正内容	設計	製図	写図	検図	査閲	件名	
									図名	
									図番	縮尺